

# 事務長会会報

第2号 平成26年2月7日(金)

編集発行人 佐賀県公立小中学校事務長会  
会長 古川 治

2月から本格導入された「ファイル授受管理システム」はまだまだ改良が必要なようです。使いこなすには時間がかかりそうですが、3月末の異動時には支障、混乱のないようにしなければなりません。システム変更への対応等、年齢を重ねるにつれ適応に時間がかかりますが、若い事務職員はその点、対応が早くて羨ましいものです。各支援室において協働で対応し、誰でも自在に操作できるように取り組んでください。今のうちに不具合や改善点があれば、質疑として提出し使いやすいシステムにしてもらいましょう。

## 第3回事務長会研修会

「ヒトを使うリーダーシップ養成講座」

講師 ヒューマン・リソース・マネジメント

代表 中村 新様

平成26年1月28日(火)

会場 佐賀市立図書館

**目的** 学校の事務長として、学校マネジメント関わる学校事務の役割と職務を研究し、併せて学校事務のシステム化・効率化を進めて業務改善を図り、学校経営への主体的な参画を実現するために、必要なスキルを向上させる。



管理職として日が浅く、今まで同じ事務職員として管理職意識が薄いなか、誰もがリーダーとして、どうすればよいのか、不安を抱きながら仕事をしています。そんな不安を払拭してくれる研修会でした。

まず、リーダーシップとは何か。あらためて考える機会となりました。肩肘張った、作った能力を見せるのではなく、自分の持っている思いを分かりやすく説明、話し合い、やり方を教え

ていく。そして信念が周りを動かしていく。そこには、当然責任も伴っていくということでした。

また、メンバー(室員)が生き活きと働くには、その可能性を信じて良い点も悪い点も飲み込める度量が必要ということです。任せて見守ることが大事なようです。続いて多忙感についても話があり1. 多様化、2. 役割の変化、3. 煩雑化にとまなうものであり、解決策として、物事はシンプルにとらえ、くよくよしないで『60点でいいということ』とても気が楽になったような気がしました。



講義はさらに、仕事を任せるにあたり、日頃から挨拶、会話でのコミュニケーションの大切さを説かれました。組織におけるコミュニケーションの相関図(指導・育成のしやすさと心理的な距離感)を交え、マズローの欲求階層説に及び、過程での行動や、努力を一緒になって喜びあえるような関係作りが必要ということでした。

それぞれ、自分なりのリーダーシップ像の輪郭が少しは描けたのではないのでしょうか。とても有意義な研修会でした。

以下、研修会参加者の感想を抜粋し掲載します。

### 第3回研修会の感想

- ・ とても参考になりました。事務室で複数の職員と仕事をするので、自分の立場と相手の立場を考えて事務室運営をしていきたい。(佐城・男)
- ・ 組織内におけるコミュニケーションの相関図が良く分析されており分かり易かった。褒めることの大切さや、注意する時のポイントが参考になった。(佐城・男)
- ・ 任せて任せず、信・認・任は難しいと感じたが、今後の支援室経営、学校運営支援に自分の心に刻んで取り組んでいきたいと思います。(佐城・男)
- ・ リーダーのスキルについて、多くのヒントをいただきました。実践に移したいと思います。(杵西)
- ・ リーダーシップを発揮することは、難しいと思っていましたが、自分がやってきたこともある意味でリーダーシップを少しながら発揮できていたのかなと、自信をもらいました。ただ、コミュニケーションをとるなかでの気配り等を含め難しいことは分らないのですが、今日の研修を受けて少しずつ実践していくようにしたいと思います。ありがとうございました。(杵西・男)
- ・ 今まで組織として勤務した経験が少ないため、自分が動かず人を使うということに慣れていないため、人に仕事を任せる事に対して、話を通して大変参考になりました。また、リーダーシップとは賢明に成し遂げようとする姿をみせることと話されたことが印象に残りました。(杵西・男)
- ・ リーダーシップについて、分析し分かり易く説明していただき、今後事務長・室長として役立てていきたいと思う。また、具体的な例などをあげていただき、実践に結びつけやすかった。部下との信頼関係を築く方法を実践していきたいと思う。(唐松・男)

### 事務長（管理職）研修会についてのご意見・ご要望

- ・ 法規演習についての、研修会を開催してもらいたい。(三神・男)
- ・ 県立事務長会との交流を希望。(佐城・男)
- ・ 事務長（管理職）研修会では、いろいろな講師による充実した講義で大変役にたった。(佐城・男)
- ・ なかなかついて行くことが難しい内容ですが、研修を受けるたびにモヤモヤしながら過ごしていた部分が少しずつスッキリして方向が見えてきています。また、自信も少しずつついてきたように思います。今後もこのような研修を計画してください。ありがとうございました。(杵西・男)
- ・ 課題を共有するために、市町教委事務局職員との合同研修の企画を要望いたします。(藤津・男)
- ・ 今年度、3回の事務長研修会があり、管理職として勉強させていただいた。来年度以降もお願いしたい。(唐松・男)

### 事務長としてのお悩みや事務長会へのご意見

- ・ 女性事務職員や再任用職員が来年度からは多くなると思われるので、業務拡張の思いが進まないでいる。(三神)
- ・ 高尚な講師もよいですが、古川会長の講演を聴きたい。古川会長の思いを全事務長が共有できることはいいことと思います。(佐城・男)
- ・ 何かを取り組もうとしても、同一市内他支援室の協力を室長レベルでは、受けていますが、室員への浸透が難しく、今厳しい状況です。もう少しわかりそうです。(杵西・男)
- ・ 室員が生き活きと仕事ができるようにするには、支援室長としてどのようにしたらいいのか考えている。室員とのコミュニケーションを大事にしたい。(佐城・男)
- ・ 日頃の他支援室の取組などの情報に接する機会がもっとあればよいと思っています。(杵西・男)

## 調査研究部より報告

平成25年度の取組として、今年度全県下の事務長、室長の協力をえて、アンケート調査を実施することができました。内容は16項目ありますが、大きく分けて3つあります。①共同実施の現状と予算との関わり、②市町予算等の現状と数的分析、③業務平準化のための現状アンケートです。

三神、佐城、東松浦、杵西、藤津の地域ごとに、それぞれ特徴を表したとてもおもしろい結果となっています。事務長としていろいろな角度から現状を把握、分析しながら、共同実施の取組をされていると思います。その情報の一資料として活用していただき、事務長として更に進んだ取組を期待します。

内容につきましては、後日、各地域の理事・調査研究部員より報告があります。

また、共同実施の取組については、参考に県からの平成25年度権限移譲フォローアップ事業について（H25.12.17付）の報告も合わせて見ると、さらに実態がわかります。